

## とっとり大学発・産学連携ファンドからの出資決定について ～鳥取大学と連携した医療ロボット研究開発・事業開発強化で新たなステージへ～

株式会社テムザック技術研究所(米子市旗ヶ崎:代表取締役社長 檜山康明「以下、テムザック技術研究所」)は、山陰合同銀行、ごうぎんキャピタル、REVICキャピタル(㈱地域経済活性化支援機構 ファンド運営子会社)が出資する「とっとり大学発・産学連携ファンド」より、総額8,000万円の第三者割当増資を受け入れ、鳥取大学と連携した医療・福祉用ロボットの研究開発、事業開発を加速させます。

テムザック技術研究所は、鳥取大学、鳥取県、米子市の支援により、株式会社テムザック(福岡県宗像市)の医療・福祉ロボット開発の子会社として米子市に設立し、平成26年4月より事業活動を行っております。2年間で、鳥取県内出身者を中心に社員数も9名に増員し、昨年6月には米子市旗ヶ崎の新社屋へ移転し、活動体制を整えてまいりました。研究開発プロジェクトも鳥取大学医学部・医学部附属病院との共同開発を中心に、医療教育・医療機器・福祉機器・健康機器分野でロボティクス技術を活用した製品開発を進めております。

### 【医療シミュレータロボット事業】

近年医学や医療技術は急速に進歩し、高度な医療機器も開発され、医療従事者の行う手技や業務が複雑化、多様化しています。医療、看護・介護現場において、医療技術の質と安全を確保するため、実践を重視したシミュレーション教育が注目されています。鳥取大学とテムザック技術研究所では、現場ニーズが高まっている分野に、より人間に近く、実技に近いトレーニングができるロボットを投入して、新しい技術獲得や新規教育に役立て、ビジネス展開を図ってまいります。



開発中の医療シミュレータロボット頭部モデル

### 【今後の展開】

テムザック技術研究所は、今回の第三者割当増資による資本増強、鳥取大学との一層の連携強化を図ると共に、REVICから取締役を受け入れ、医療シミュレータロボット事業を中心に、ロボットビジネスの事業戦略を構築し、研究開発、事業開発を加速させる、新たなステージへ移行してまいります。また、「とっとり大学発・産学連携ファンド」は地域で新たな事業、産業を創造し、雇用の創出、地域経済の活性化を目指す目的であり、山陰地域の産学官金・県民が共に、医療用ロボットの開発・事業に参加する山陰モデルを確立し、全国、世界に発信できるビジネスモデルを確立してまいります。

(次ページに、産学連携ファンド、テムザック技術研究所概要があります。)

## 【とっとり大学発・産学連携ファンド 概要】

名称	とっとり大学発・産学連携投資事業有限責任組合
ファンド金額	10億2,000万円
組員構成	株式会社山陰合同銀行 ごうぎんキャピタル株式会社 REVICキャピタル株式会社((株)地域経済活性化支援機構※ ファンド運営子会社)
設立日	平成27年1月1日
存続期間	設立日より7年6ヶ月
業務運営者	ごうぎんキャピタル株式会社 REVICキャピタル株式会社
主な投資対象	鳥取大学の保有するシーズを基にした起業 鳥取大学の保有するシーズを技術移転し事業化を図る既存企業 等

※(株)地域経済活性化支援機構 (REVIC) : 金融機関等と連携し地域経済の活性化に資する事業活動を行う官民ファンド。  
(旧:(株)企業再生支援機構)

## 【テムザック技術研究所 概要】

名称	株式会社テムザック技術研究所
住所	鳥取県米子市旗ヶ崎 2 3 1 9 - 3
設立登記日	平成25年12月9日
資本金	5 5,000千円(増資後)
代表取締役社長	檜山 康明
社員数	9名
事業内容	医療用ロボット等の研究開発、製造、販売

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社テムザック技術研究所

鳥取県米子市旗ヶ崎2319-3

代表取締役社長 檜山康明

電話:0859-30-4275 FAX:0859-30-4276

E-mail: [contact@tmsuk-rd.jp](mailto:contact@tmsuk-rd.jp) URL: <http://www.tmsuk-rd.jp/>

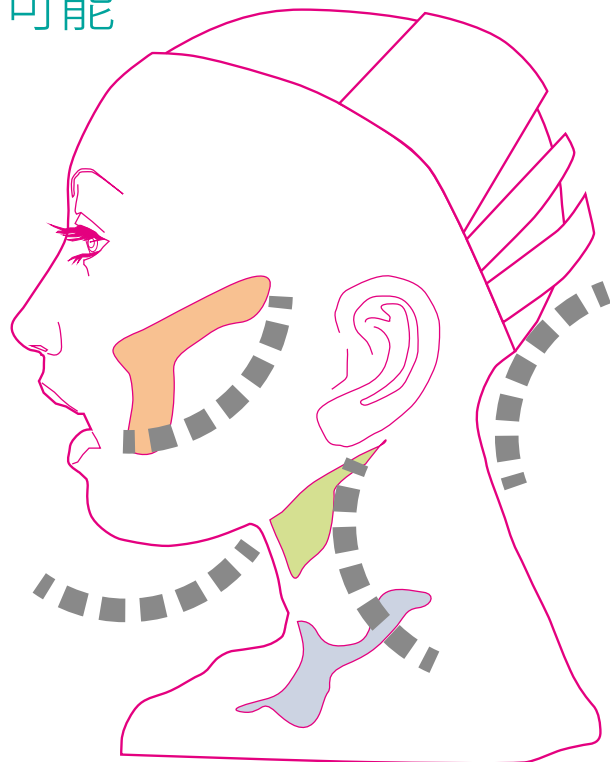
## ロボットの技術で高度な医療教育を実現する ハイテクシミュレータの開発

- 人間に近い生体反応を再現し、実技のようなトレーニングができる。
- リアリティさ、音声発話により患者とのコミュニケーションの実習も可能。

- 人間に近い反応
- 処置に対して反射
- 施術者との会話が可能



○医療用シミュレータロボット頭部モデル



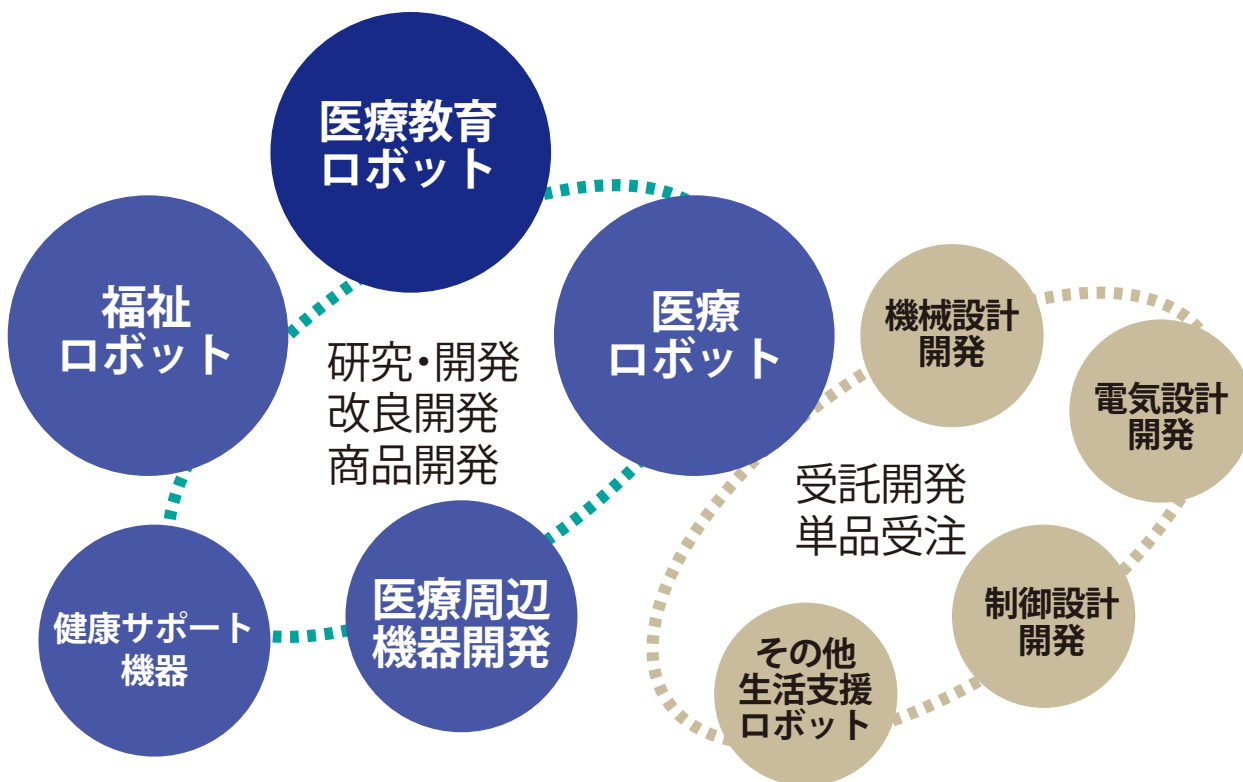
### ●鳥取大学医学部・附属病院シミュレーションセンターとの開発連携

医療・看護の実践的な医療教育を実施している鳥取大学医学部・附属病院シミュレーションセンターの協力により、医療の現場で要求される仕様を満たした、リアリティの高い医療教育シミュレータの開発を行います。

<http://www.med.tottori-u.ac.jp/simulation/>



[事業ドメイン]医療・福祉のフィールドで活躍するロボットの開発にフォーカスします。

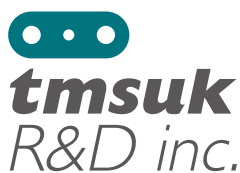


[開発中のプロダクト]医療・福祉現場、教育機関、地域企業との密度の高い連携で製品開発を行っています。



鳥取大学医学部・附属病院  
次世代高度医療推進センター  
他各診療科

共同開発



医療教育ロボット

福祉ロボット

医療ロボット

健康サポート/医療周辺機器

開発協力

共同開発

山陰エリアの力  
Powered by  
SAN-IN Area!

共同研究機関・大学

地元協力企業

※

共同開発企業

※現在開発中の製品のため、開発製品の詳細、協力団体・企業の名前の公表は控えております。